National
松下電工

ナショナル 避難はしご 取扱説明書

金属製のたて型 固定式避難はしご 型式承認品 型式番号 第7201号

保管用

■ご使用前に取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。 ■この取扱説明書は必ず保管してください。

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

禁止

- 収納ケースの上には乗らないでください。
  ～転落事故のおそれがあります～
- 収納ケースの上や周辺には、物を置かないでください。
  ～逃げおくれの原因となります。また、表面が傷つき、サビの発生原因となります～
- 避難はしごを改造しないでください。
  ～機能不備による事故の原因となります～
- 荷物等を持って避難しないでください。
  ～転落事故のおそれがあります～
- スリッパ等の滑り易いはきもので避難しないでください。
  ～避難はしごを踏みはずす原因となります～
- 避難はしごからの飛び降りやゆさぶりはしないでください。
  ～転落事故のおそれがあります～
- 収納ケースの上に植木鉢を載せたり、台車をあてたりして収納ケースに傷を付けないでください。
  ～サビ等で、機能不備による事故の原因となります～

必ず守る

- 避難はしご設置時には、取扱説明書に従い、避難はしごがすぐに使用できるように調整・確認を実施してください。
  ～守らないと、避難時すぐに使用できないおそれがあります～
- 吊り下げ金具の取り付けは、堅固な窓枠か手すりを選んでください。
  ～守らないと、転落事故のおそれがあります～
- 真下に人がいないことを確認して、避難はしごを降ろしてください。
  ～守らないと、事故の原因となります～
- 避難はしごをしっかり握りながら避難してください。
  ～手をすべらした時、転落事故のおそれがあります～
- 避難はしごは、避難時および避難訓練時のみ使用してください。
  ～子供の遊びなどに使用すると、事故の原因となります～
- 夏期には、収納ケースが熱くなっているおそれがありますので、ご注意ください。
  ～不注意にさわると、火傷の原因となります～
- 重量物につき、荷扱いには注意してください。
  ～守らないと、ケガのおそれがあります～
- 避難時および避難訓練時以外は、フタを閉めた状態で設置してください。
  ～守らないと、サビ等で、機能不備による事故の原因となります～
- 収納ケースにサビが発生した場合は、サビをよく取り除いて塗料等で補修してください。
  ～守らないと、サビ等で、機能不備による事故の原因となります～
- 「避難はしご」は必ず半年に1度整備点検（消防法による義務）を実施してください。
  ～さび等で、機能不備の原因となります～
  （整備点検には、消防設備士または、専門の点検資格者が必要です）

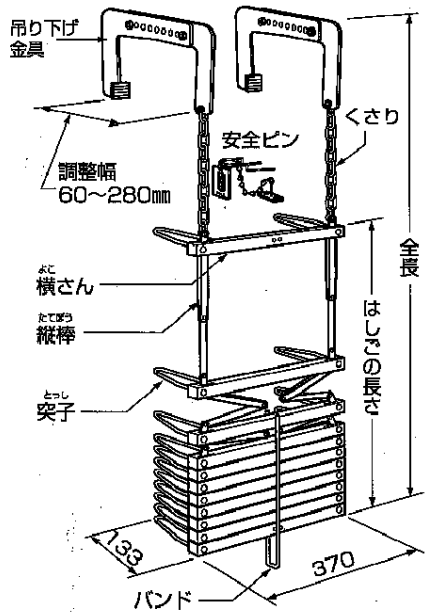
⚠注意

必ず守る

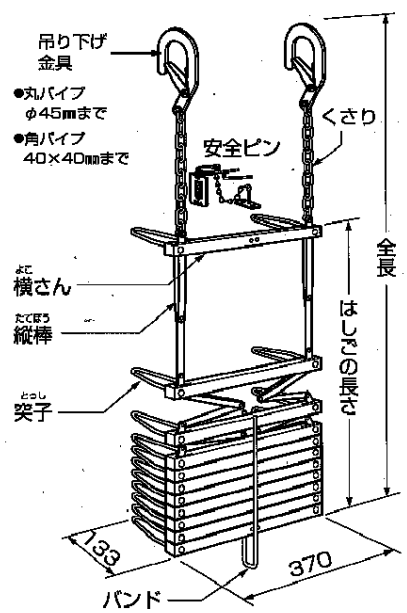
- 全員で避難訓練を実施してください。
  ～守らないと、逃げおくれの原因となります～

各部のなまえ

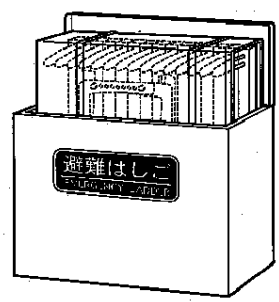
自在フック型



ナスカンフック型



収納ケース



同梱内容

- 避難はしご本体
- 標示板
- ご使用方法板
- 取扱説明書

ポイント

- 避難はしごの設置が義務づけられている場所への設置は、消防規則により届け出が必要です。詳しくは、所轄消防署のご指導をお受けください。

■自在フック型

※品番のRは（赤色）・Wは（白色）の収納ケース色を示す

品番	品種	全長	はしごの長さ	はしごの重量
DE1044KR・KW	4型	3.8m	3.3m	7.2kg
DE1045KR・KW	5型	4.7m	4.2m	8.5kg
DE1046KR・KW	6型	5.7m	5.2m	9.7kg
DE1047KR・KW	7型	7.1m	6.6m	11.4kg
DE1048KR・KW	8型	8.4m	7.9m	13.1kg

■ナスカンフック型

※品番のRは（赤色）・Wは（白色）の収納ケース色を示す

品番	品種	全長	はしごの長さ	はしごの重量
DE1054KR・KW	4型	3.8m	3.3m	6.3kg
DE1055KR・KW	5型	4.8m	4.2m	7.5kg
DE1056KR・KW	6型	5.8m	5.2m	8.8kg
DE1057KR・KW	7型	7.1m	6.6m	10.5kg
DE1058KR・KW	8型	8.4m	7.9m	12.2kg

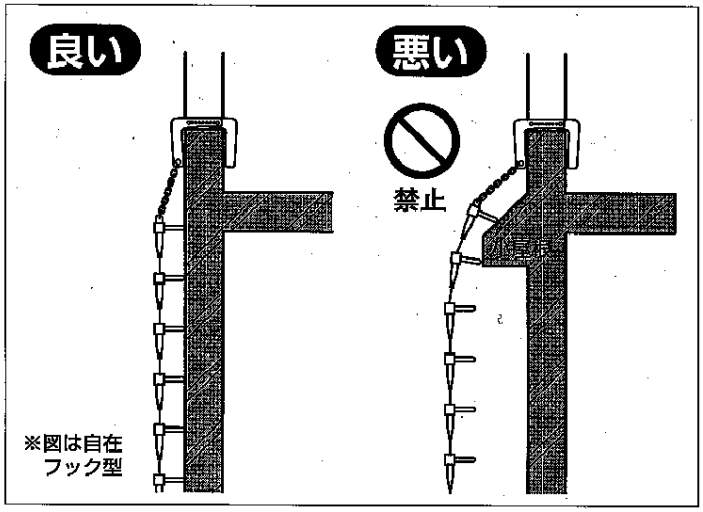
※吊り下げ式避難はしごは、消防法施行規則〈第27条〉により、地上3階までの使用が認められています。

ご使用前の準備

1 避難はしごの設置場所の選定

●地面または下の階面までまっすぐな壁面のある場所を選んでください。（小屋根など壁面から突き出ている場所はさけてください）

●窓枠や手すりの堅固な場所を選んで設置してください。



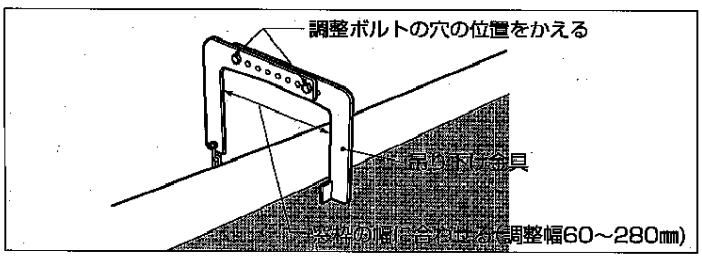
2 吊り下げ金具幅の調整・確認

注意

●収納ケースやはしご本体の包装を全てはずし、自在フック型の場合は、事前に吊り下げ金具の幅を調整してください。
～守らないと、避難時すぐに使用できないおそれがあります～

自在フック型の場合

●吊り下げ金具の調整ボルトをいったんはずし、金具の幅を窓枠の幅に合わせます。窓枠の幅寸法に近いボルト穴を選んで再びボルトを堅固に締めつけます。

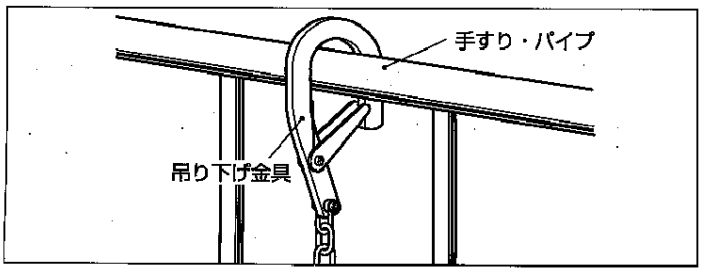


警告

●吊り下げ金具の取り付けは、堅固な窓枠を選んでください。
～守らないと、転落事故のおそれがあります～

ナスカンフック型の場合

●吊り下げ金具を取り付ける手すりなどの外径と強度を確認してください。（丸パイプでφ45mm、角パイプで40mm×40mmまでの手すり等に取り付けできます。）



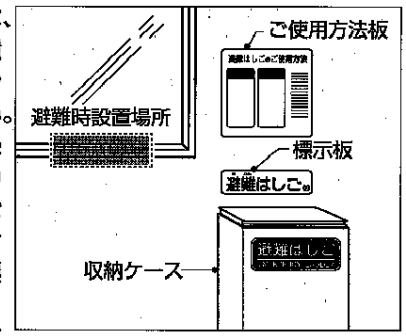
警告

●吊り下げ金具の取り付けは、堅固な手すりなどを選んでください。
～守らないと、転落事故のおそれがあります～

3 収納ケースの保管場所の選定

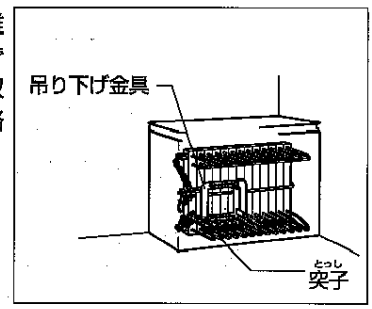
●収納ケースの保管場所は、避難時避難はしごを設置する場所の近くで、分りやすい場所を選んでください。

●消防法施行規則第27条の2項により避難はしごの表示（同梱の標示板とご使用方法板）が義務付けられています。必ず、「標示板」と、「ご使用方法板」のパネルは、良く見える位置に貼り付けてください。



4 保管

●2の調整および確認後、避難はしご本体は包装を全てはずし、避難時に備えて、すぐに取り出せるよう収納ケースに格納してください。



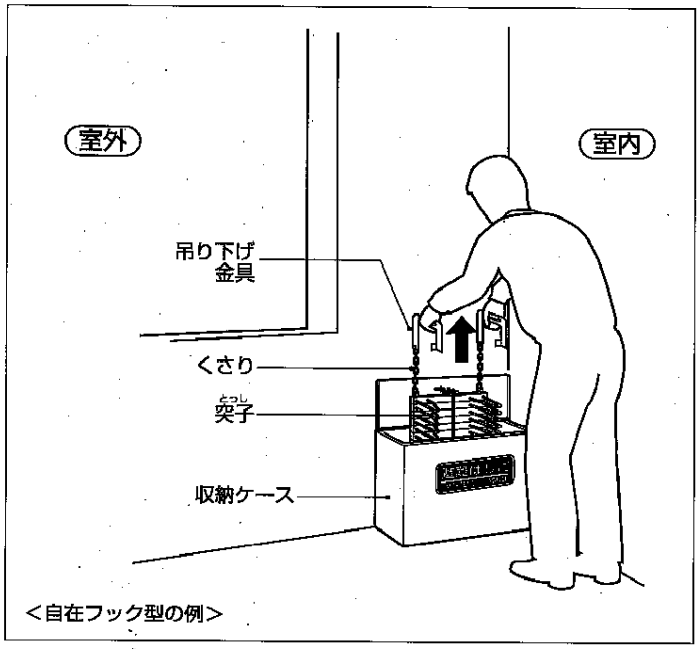
警告

●収納ケースの上には乗らないでください。
～転落事故のおそれがあります～
●収納ケースの上や周辺には、物を置かないでください。
～逃げおくれの原因となります。また、表面が傷つき、サビの発生原因となります～
●避難はしごを改造しないでください。
～機能不備による事故の原因となります～
●収納ケースの上に植木鉢を載せたり、台車をあてたりして収納ケースに傷を付けないでください。
～サビ等で、機能不備による事故の原因となります～
●夏期には、収納ケースが熱くなっているおそれがありますので、ご注意ください。
～不注意にさわると、火傷の原因となります～
●避難はしごは、避難時および避難訓練時のみ使用してください。
～子供の遊びなどに使用すると、事故の原因となります～
●重量物につき、荷扱いには注意してください。
～守らないと、ケガのおそれがあります～
●避難時および避難訓練時以外は、フタを閉めた状態で設置してください。
～守らないと、サビ等で、機能不備による事故の原因となります～
●収納ケースにサビが発生した場合は、サビをよく取り除いて塗料等で補修してください。
～守らないと、サビ等で、機能不備による事故の原因となります～

ご使用方法

1 避難はしごを取り出す

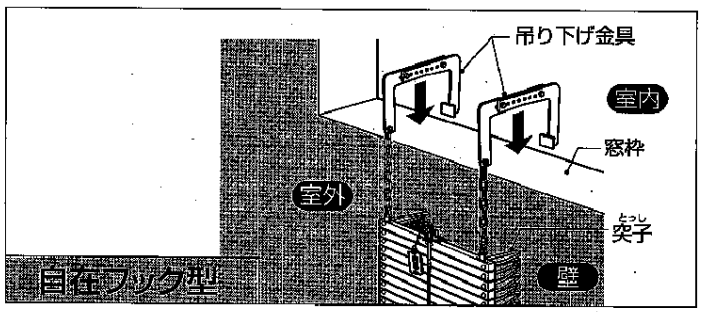
●収納ケースのフタを開け、はしごを取り出してください。
●はしごの突子(とつし)が手前にくるように取り出してください。
●「くさり」ねじれないように、吊り下げ金具を調整してください。

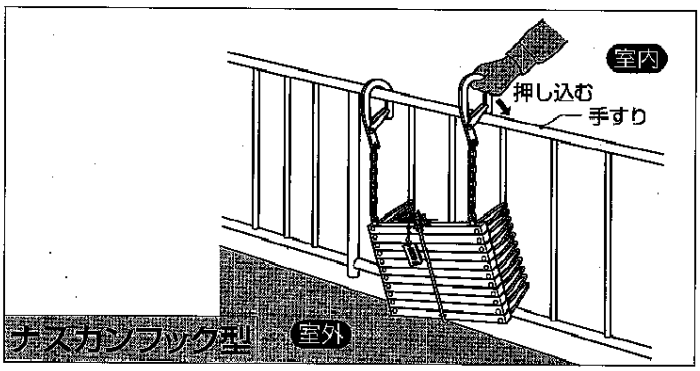


＜自在フック型の例＞

2 吊り下げ金具を窓枠または手すりにかける

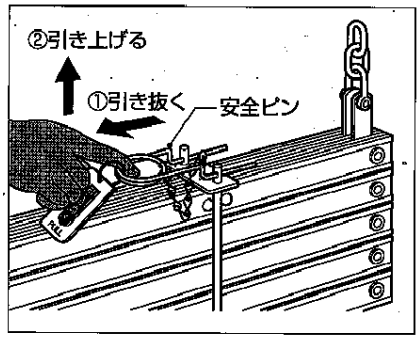
●突子(とつし)が壁側になるよう、吊り下げ金具を持ち、はしごを外に出し取り付けてください。





⚠警告
- はしごを取り付ける際、下方の安全を十分に確認してください。
  ～守らないと、事故の原因となります～
- 吊り下げ金具の取り付けは、堅固(けんご)な窓枠か手すりを選んでください。
  ～守らないと、転落事故のおそれがあります～

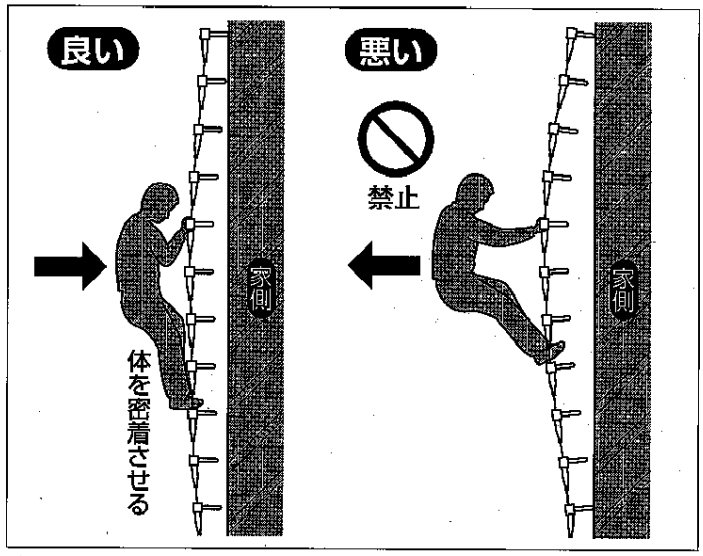
3 安全ピンを引き抜く



⚠警告
- 真下に人がいないことを確認して、避難はしごを降ろしてください。
  ～守らないと、事故の原因となります～

4 下へ避難する

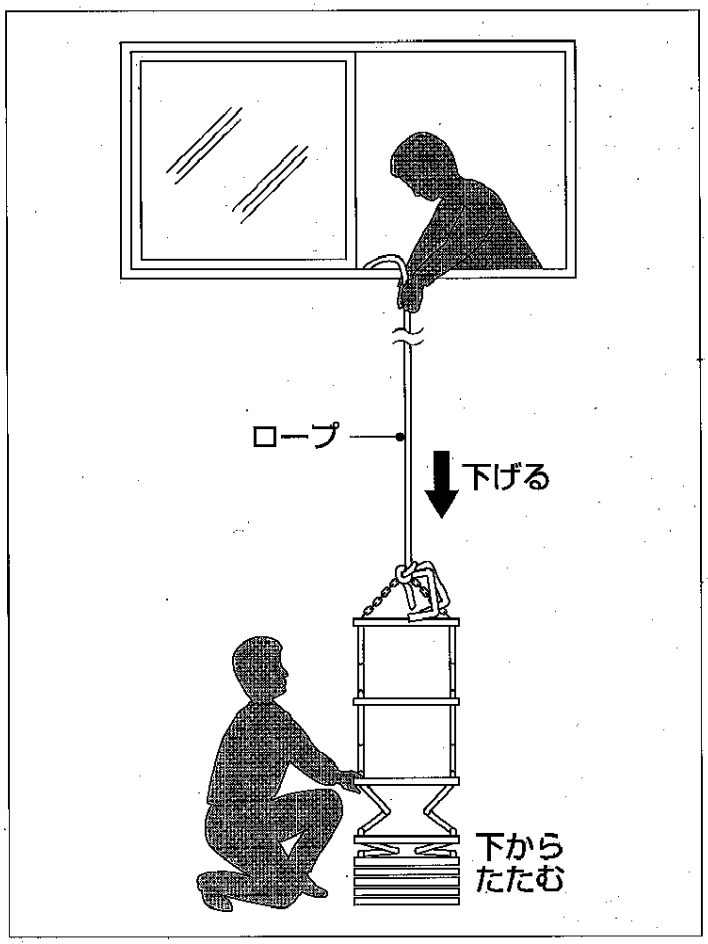
●体を家側に向け窓枠または手すりをしっかりとにぎり、横さんに足をかけてください。
●おりる時は横さんをにぎり、体をはしごに密着させるようにして降りてください。



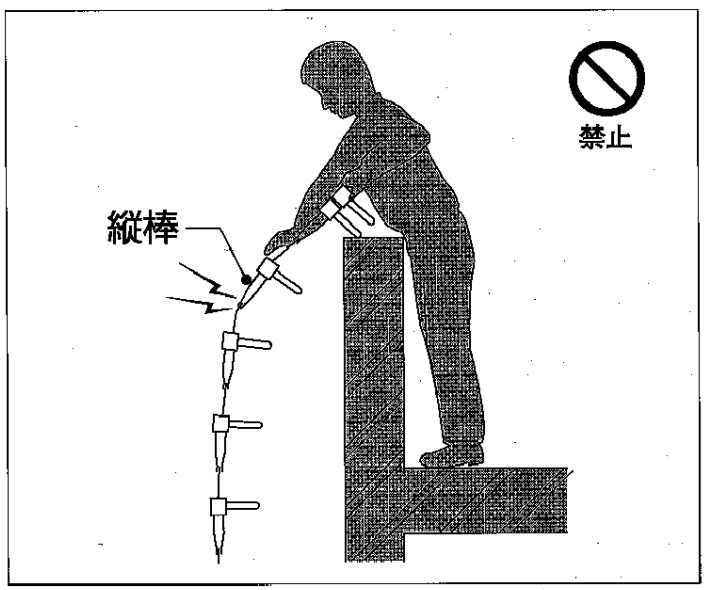
⚠警告
- 荷物等を持って避難しないでください。
  ～転落事故のおそれがあります～
- スリッパ等の滑り易いはきもので避難しないでください。
  ～避難はしごを踏みはずす原因となります～
- 避難はしごからの飛び降りやゆさぶりはしないでください。
  ～転落事故のおそれがあります～
- 避難はしごをしっかり握りながら避難してください。
  ～手をすべらした時、転落事故のおそれがあります～

収納方法

●はしごを収納する場合は、ロープ等で吊り下げ、徐々におろしながら、指づめに十分注意し、下から折りたたんでください。



●窓の方に引っぱりあげると作業が難しく、縦棒が曲がり収納できなくなる場合がありますので、行わないでください。



松下電工株式会社　配管機材事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048　TEL.(06)6908-1131〈大代表〉